

編集・企画

八幡平ふるさと会 広報委員会

〒273-0011

千葉県船橋市湊町2-8-1-1813

TEL/FAX 047-437-5498



第6回

◆みんなの癒しの場◆ 八幡平ふるさと会の集い

東日本大震災から1年が過ぎました。会員の皆様にはどんな1年でしたでしょうか。被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて今年もふるさと会の集いの日がやってきます。5月27日(日)、日暮里駅南口の「ホテルラングウッド」にて、平成24年度の「八幡平ふるさと会の集い」を開催いたします。

昨年は八幡平市からのご来賓の皆様も含めて約230人が出席。震災に遭われた方々への追悼から始まりました。

八幡平市民歌の作曲者林芳輝さんと、声楽家の鎌田滋子さんも出席、美声の披露と歌唱指導のもと、出席者全員で市民歌を合唱。また予定していた「さんさ踊り」に変わり、ふるさと会会員等の方々の友情出演の他、福引抽選会などを楽しみました。

今年も待望の旧安代地区の「兄川先祇い」の郷土芸能の他、また盛りだくさんの企画で皆さんをお待ちしております。

◆自然と向き合い培った人生◆

総会実行委員長 村上 幸司

皆様お元気ですか！今年も八幡平ふるさと会のメンバーが一堂に会する総会の時期を迎えました。

また皆さんの元気な姿が見られることを切に願っております。

昨年来、日本を取り巻く状況は、はなはだ遺憾でありました。自然の猛威と原発事故の前に、人間の無力さをまざまざと知らされました。年明けのふるさととの友の便りには「雪と格闘の日々、日毎に歳を感じる」とありました。さもありなん、自分も、昔の人なら十の

八幡平ふるさと会総会 「第6回八幡平ふるさと会」の集い

日時：平成24年 5月27日(日)
午前11時00分～

(受付:午前10時30分～)

場所：ホテルラングウッド「飛翔の間」
東京都荒川区東日暮里5-50-5

電話 03-3803-1234

会費：9,000円 (子ども同伴者は12,000円)



- ◆JR 山手線、京浜東北線、常磐線/日暮里駅南口徒歩1分
- ◆京成線、舎人ライナー/日暮里駅徒歩3分

昔に骨となり微塵となつて大地に埋もれている歳なのです(68歳ですが)。

豪雪の今年、ふるさととの小・中学生が雪かき「スノーバスターズ」の活動を展開し、孤立老人宅の雪かきや雪おろしに、都会では考えられない活動に励んでいるとのニュースがありました。良い子どもたちが沢山育ち、ふるさと八幡平市を小さな手足で支えてくれている。我がことの様嬉しく、思わ

ず涙が出ました。厳しいばかりの自然ではない。厳しさと・優しさと、そして雄大さが思いやりのある人間の形成に役立っているのです。私達にも、あの辛さ・あの苦しき・あの喜び、等、色々な思い出が沢山詰まった故郷なのです。厳しくも、優しいふるさとを持つ我々のために、今回は市が指定する伝統芸能「兄川先祇い保存会」の皆さんが出演してくれる予定です。

今年はずっと良い年になります。良い年にしましょう。

我等の願いが、雪山にこぼれ落ちて、幸せの雪崩が押し寄せて来るように！貴方の幸せな笑顔を会場です。

昨年のアトラクション



釜石市で震災に遭われた伊藤氏の「ムゲン流陣太鼓」と被災体験談、安代出身の藤村氏、松尾出身の高橋氏、他の方々の「津軽じょんがら」「南部じょんがら」の弾き語り、南部牛追い唄牛方節、山形馬喰節などを披露。

《震災の影響で急きよ予定を変更》

★八幡平市へ 寄付金贈呈

昨年8月15日、第5回ふるさと会の集いで皆様からいただきました11万200円を、「ふるさと青少年育成基金」として八幡平市にお届けしました。



今年も「ふるさと会の集い」の時期となりました。最低中学校まで育った故郷は、街並みと山沿い等は変わってきていますが、四季を問わずその風景は脳裏に焼き付いていて、特にこの齢になりますと常に哀愁を感じています。

その想い出を語り合う、年1回のこの集いに、友人、知人をお誘いの上、多数のご参加をお待ちしております。

岩手県連のゴルフ大会に参加し始めたのは、第4回大会（平成14年）からであった。当時は東京安代会時代で8名が参加。それ以来毎年参加者が増えて、昨年は18名の参加となった。団体戦では、第6回大会と昨年の第13回大会が準優勝、第10回記念大会は3位だった。

ゴルフは健康増進の為に始めたが、今では多くの人との出会いを求めてやっている。ゴルフを通じて沢山のひと知り合い、それが私の財産となっている。我を張らず一日楽しく、笑顔で過ごすことで友情が生まれる、素敵なことである。成績は良いに越したことはないが、自我のなせる性か、自問している。

◆岩手県人連合会ゴルフ大会

期日：10月（日にち未定）
場所：千葉県・紫あやめコース

◆八幡平ふるさとゴルフの会

期日：8月15日（水）
場所：大更・南部富士GC

●連絡先

八幡平ふるさとゴルフの会

●責任者

小野沢 栄治

TEL・FAX 03-3870-7760

携帯電話 090-1540-5856

八幡平ふるさと会会長

田村 啓造

ゴルフと私

小野沢 栄治



釜石事業の紹介

ムゲンシステム（株）伊藤 彰

弊社は、釜石へ企業立地以来、環境技術センターで釜石港の廃棄物資源化装置を開発し、完成した装置を販売する実績を上げるまでになりましたが、納品した多目的溶融炉の代金未回収や東日本大震災に工場が飲み込まれる等思わぬ事態が続きました。こうした困難な状況下でも撤退を考えず事業を諦めずに継続して参りました所、お陰様でこの度平成23年度中小企業等復旧・復興支援事業費補助金で釜石産業再生グループの一員として助成金の交付が決定致しました。この復旧事業では主に日常的に発生する漁業系廃プラスチックや医療廃棄物等地域の循環資源を熱分解、溶融処理をして再生油を生産します。得られた再生油は、地域の自給自足・分散型発電事業用等の再生エネルギーとなり、この地産地消事業は被災地の雇用創出にも寄与することが可能となります。

又、23年度NEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）「アスベスト含有廃棄物の無害化実証開発」事業の再委託先選ばれました。弊社が歩んだ事業のベクトルを国の予算で、被災地で発生している大量のアスベスト含有廃棄物を安全、且つ自立型のエネルギーを用いて無害化処理する実用装置開発の形で進められる運びとなりました。このNEDO実証事業は、被災地のエネルギー事情に則し、廃棄物を再生エネルギーとしてアスベストやPCB等の含有物を無害化処理する画期的な環境事業への道を開くものです。

弊社が釜石事業を行う目的は、不況や人口流出等で疲弊している生まれ故郷の岩手を、奥州藤原三時代のように、暮す人々が独立自尊の気概に満ちて、心豊かに誇りあるものとするために、自然調和型の経済構築や安定的な地域雇用役に役立ちたいと思うものです。廃棄物で有害物を無害化したり、漁業系廃プラ・医療廃棄物等を分散型の地域発電の再生エネルギーとして活用する資源循環と雇用創出の釜石モデルは、日本の国内はもとより、これから工業化が急速に進むユーラシア諸国、南アメリカ諸国等世界の模範にもなります。

尚、昨年5月10日に設立した釜石を本社とする株式会社銀河エナジーは、現在35名の社員数となりました。釜石市災害廃棄物処理の試行事業では30人体制の実績を作ることが出来たので、お陰様で引き続き釜石市災害廃棄物処理の本事業で地元建設会社様や同業者様と共に力を合わせ、未来志向スマートシティに向けた復旧・復興へ額に汗する所存です。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



被災体験を語る伊藤氏

郷土のダイジェスト



◆明治百年記念公園に 小水力発電所が完成 環境に優しい シンボルまた一つ

昨年10月8日、主要地方道大更八幡平線沿いの明治百年記念公園で、小水力発電所が回り始めました。

発電所は開放型下掛け水車と呼ばれる形式で、直径3.6メートルの水車には、羽根が36枚付いています。最大出力9.6瓩で、11月からの冬期間を除いた7カ月間稼働し、約14世帯の電力に相当する4万9896瓩時の電力を生み出します。

発電量は決して多くはありませんが、同程度の発電所を今後もし設置できる可能性を実証することができたとともに、環境学習の教材として、そして環境に優しいまちづくりシンボルとしての役割も期待されています。

はらから 映画「同胞」の絆よ永遠に

山田洋次監督と倍賞千恵子さんとの交流会

昨年10月14日、八幡平リゾートホテルで、山田洋次監督（80歳）の監督生活50周年と、女優の倍賞千恵子さん（70歳）の古希を祝う会が開かれました。

この会は、旧松尾村を舞台に昭和50年制作された映画「同胞」の地元出演者などが企画。お二人は監督生活50周年を記念したNHKのドキュメンタリー番組収録のために来訪していたもので、山田監督は参加者約20人を前に「同胞は僕にとって特別な映画」と語るなど、時間を忘れて思い出話に花を咲かせました。



新庁舎建設が始まります

新庁舎の位置は「野駄第21地割170番地」

昨年11月25日の市議会臨時会で、新庁舎の位置が「八幡平市野駄21地割170番地」と決まりました。26年秋の完成に向けて3月造成工事、今年の秋からは庁舎の建築工事に入ります。

庁舎は周辺の景観に配慮し、3階建てとし、別棟で機械室と車庫を配置。会議や講演会、検診などを行う多目的ホールも庁舎に併設します。結（ゆい）のひろばは、庁舎と多目的ホールをつなぎ、通勤・通学などの駅利用の待合機能のほか、庁舎やホールを利用するときの待ち合いや休憩にも利用できます。また、壁面利用やパネル設置などによる展示コーナーなど、利用の自由度が高い空間として活用します。

冷暖房は再生エネルギーである地中熱を利用したシステムを導入。少ない電力で冷暖房を行います。

八幡平ふるさと会によせて

八幡平ふるさと会が本年も盛大に開催されますことに、心よりお祝い申し上げます。

心から感謝申し上げます。幸いにも大きな被害がなかった本市では、市をあげて被災地の復興支援に力を注いできました。支援活動は長く続くものだから、

その一方で、全国の皆様からいただいた多くの支援には、改めて日本国民の素晴らしさを感じました。また、本市をふるさとにもつ皆様からご心配、更にはご支援をいただいたことには



八幡平市長
田村 正彦

と思っております。これからも岩手の復興のため、支援を頑張つてまいります。昨年の秋には復興支援として

全国各地で本市の農作物や特産品を販売する機会をいただき、より多くの皆様に本市の特産品を購入していただきました。農産物に関しては、本年度においても放射性物質に関する風評被害が考えられ、順風満帆とはいかないことが予想されますが、安全な商品をお届けできるようしっかりと管理してまいりますので、どうぞ本市の安心・安全な農産物や特産品をご友人やご近所の方にお勧めください。

でもウェルカムドリンクによるおもてなしや、平泉からの二次交通、市共通商品券を活用した宿泊キャンペーンを行ってまいります。ぜひ、この機会にご友人との「ふるさと八幡平」へのご旅行をお楽しみください。最後になりますが、毎年「ふるさと会総会・ふるさとのつどい」を開催するにあたり、ご尽力されている八幡平ふるさと会の役員の皆様、また参加して会を盛り上げてくださる皆様に感謝申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。



南側から見下ろしたイメージ

人生の迷い
伊藤博光

ふるさとを離れてから早いもので、五十年が過ぎました。「光陰矢の如し」といいますが、特に還暦を過ぎてからは時の過ぎ去っていくのを早く感じています。

当時は集団就職列車なるもので、家族や友人等が駅まで見送りに来て、別れを惜しみながら故郷を後に東京方面に向かったものでした。そのこともあってか、若い頃、上野駅は私にとっては故郷の匂いにする都会のオアシス的な存在であり、寂しい時や、仕事上嫌なことがあった時などは、一人で上野駅まで行って、公園周辺を散策しながら気持ち癒したり、落ち込んだ気持ちを奮い立たせてくれる絶好の場でもありました。

遠い昔も忘れかけた現在は、第二の職場も定年退職して埼玉の新座市にどっぷりとつかっています。しかし、私だけがこの流れの人生で良かったのかと、自問することがあります。

私は農家の後を継ぐ身でしたが、高校を卒業して間がない頃、親父に「1年位、東京の方に行つて社会勉強したい。」と、反対する親父に粘り強く話をしたところ、渋々許してくれました。上京後、何回か帰省するものの、

一年過ぎてもなかなか実家に戻る様子がないので、電話や手紙等で再三帰つて来るよう促されました。私もその都度話を逸らして、その場を逃れて何年か過ぎ去りました。そのうち親父も諦めたのか、最後は「人様に迷惑をかけるければ」等と言つて、その後は一切口に出しませんでした。

いつの日か上の娘と二人で帰省したところ、両親は目を細めて孫を大変可愛がり、その笑顔が今でもはっきりと脳裏に残っています。当時、両親には言えなかったが、仕事を辞めて実家に帰りましたが、独身の頃と結婚後の二回程ありましたが、迷いに迷い、自分の蒔いた種でもあり、どうにか乗り切つて月日が解決してくれました。

両親は亡くなって、もう大分経ちますが、今、生きていたら五人兄弟の次男で、しかも鉾山育ちの自分にどうして農業を勧めたのか、酒を飲みながら聞きたかった。それと親の意に添わなかった不幸を詫言たかった。



昭和30年代後半と推定の上野駅

八幡平サーモンづくし

八幡平ふるさと大使 六本木 三保子



1月中旬、市長より「新宿の京王百貨店で全国駅弁大会が開催されるが、当市からも、にしね道の駅の「八幡平サーモンづくし」なる弁当を出品するのでぜひ賞味していただきたい」とのお手紙を頂戴いたしました。

ちょうど1月22日がふるさと会の役員会だったので数人の方に声をかけ、昼食として味わうことになりました。中身は酢飯に錦糸卵、脂ののった味噌漬の炙りサーモン、そして醤油漬の生のサーモンがのせられたものです。見た目なんとも言えない、ほっこりした感じで思わずふるさとの風景が浮かぶような優しいお弁当でした。

ところで、八幡平にサーモン？ふるさとにこんな魚がいたっけ？と食べながらも思いつくことができませんでした。そこで

で道の駅の遠藤調理長さんに聞きました。曰く「八幡平サーモンは、元はニジマスで金沢清水の水を曳き、餌も改良し、5年かけて養殖したもので、重さ4〜5kgになったものを使っています。4月からは、にしね道の駅のレストランでも小鉢と汁物付きで1,000円で提供する予定です」とのこと。ふるさとへお出かけの際は、ぜひお立ち寄り下さい。ちなみに「トラウトガーデン」が、この八幡平サーモンの生地のようなです。

子どもの頃は全くの僻地でこれといったものもなかったのに、半世紀以上経た今は、住む人々の知恵と努力でさまざまに生活スタイルが変化し、改善向上しているのを見て、ふるさとが更に大きく発展していくことを願わずにはいられません。



- ❖ バリ島は米三毛作観光立国三五〇万人訪めると言ふ
 - ❖ バリ島の渚に憩う若者らの水着姿は我には眩し
 - ❖ 赤白黄の花咲くバリの我が泊るホテルの庭は極楽に見ゆ
- 短歌でつづるバリ島訪問記
駒ヶ嶺 泰秀

- ❖ グランドゴルフして親しくなりしバリ島の青年たちの忘れざるはも
- ❖ 目覚めればバリのビーチの四方より佛法僧の声聞こえて嬉し
- ❖ 亀の子が泳ぐが如く幼な子がバリのビーチのプールに遊ぶ

<各地区名簿管理委員>

○旧安代	栗山 征治	03-3674-4868
○旧西根	萩原 レイ子	047-479-2465
○旧松尾	高橋 勤治	043-424-0667

毎年、皆様に送付しているこの会報及びふるさと会の集いの案内が多数戻ってきます。

転居などで住所を変更した場合は、名簿管理委員会か事務局に連絡をお願い致します。

また同封のハガキに必要事項を記入の上、返送下さい。